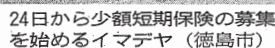


徳島の大手葬祭 イマデヤ

少額短期保険取り扱い

医療費など
迅速手当て
顧客の利便性向上

徳島県の大手葬祭業者「イマダヤ」（徳島市、今出貴士社長）は、掛け金が少ない「少額短期保険」に参入する。100%出資子会社がこのほど、四国で初めて少額短期保険業に登録、24日から募集を始める。保険金を迅速に支払うサービスが特長で、死亡関係書類を受け付けた当日に支払うことも可能。同社の葬儀サービス以外に必要となる医療費などを迅速に手当てできるようにするなど利便性も高める。



少額短期保険業の登録を受けたのは「おおひさ額短期保険」(徳島市、今出昇治社長)。24日かから募集を始める商品は無配当1年定期保険の「おおひさプランDX」。死亡保険金額最大300万円の掛け捨てタイプで、保険金の設定は10万円単位。また、支払い可能な月々の保険料から保険金

葬祭業は将来的な人口減や葬儀の小規模・簡素化を受けて市場規模の縮小、競争激化が予想されている。イマデヤは幅広いサービスの提供で「生活支援企業」をアピール、顧客確保につなげる狙いだ。

額を算出、設定することになる。

1年間ごとに更新する場合は、仕組みで加入対象は満1歳から99歳まで。例えば、30歳の男性加入者で保険金額100万円の場合、月々の支払いは600

円。年1回払いなら6900円。年齢が上がるにつれて、保険料も上がる。死亡時には医療費のほか、葬儀代や墓代、戒名代など様々な費用が必要になる。しかし、通常の生命保険は審査から支払

いまで時間がかかっているまい、当座の支払いにはいかに対応していく。このため、新商品は上限30万円を、原則死亡関係書類を受け付けた翌々営業日に支払うサービスを導入。場合によっては、受け付け当

親会社で葬祭業のイマダヤが代理店となり、顧客の窓口となる。すでに保険を取り扱うことができる資格者の「少額短期保険募集人」を30人確保

当面は加入者30,000人が目標で、年間売上高1億円を見込んでいる。今後は、県外にも代理店網を広げる考え。

イマデヤは1882年創業の老舗葬祭業者で、年商約20億円。

2009年(平成21年)9月16日 水曜日

イマデヤ、三三保険参入

新会社設立、登録は四国初

葬祭業のイマデヤグループ（徳島市）は、改正保険業法に基づく少額短期保険（ミニ保険）事業に本格参入した。事業を運営する新会社「あおい少額短期保険」を設立し、四国財務局の事業者登録を受けた。少額短期保険会社の登録は四国で初めて。消費者に手堅な商品で顧客開拓を図る。

00万円、従業員9人で
発足。24日をめぐに営業
を本格化させる。あんし
んプランDXのほか、今
後も商品を増やしていく
方針。

あおい少額短期保険が
発売する定期保険「あん
しんプランDX」は▽最
大300万円の死亡保険
金を支払われる▽最長99
歳まで保障を継続できる
▽普通死亡保険額の50%
(上限30万円)を書類受
付日の翌々営業日に支払
うなどが特長。

イマデヤはこれまで葬
儀費用100万円を保障
する共済会（東京）の代
理店業務を行ってきた。
しかし、2006年に保
険業の新たなルールづく

りを目的に保険業法が改正されたのに伴い、共済会が事業を撤退。このため、従来の会員保護と新規の顧客開拓を図る目的で、あおい少額短期保険を新たに設立した。

新会社は、資本金30億円で、今出昇治代表取締役は「葬祭業にとどまらず、よりよく生きていただく生活支援企業として取り組む。四国第一号を利点に、県内だけでなく他の3県での展開も目標にしたい」と話している。